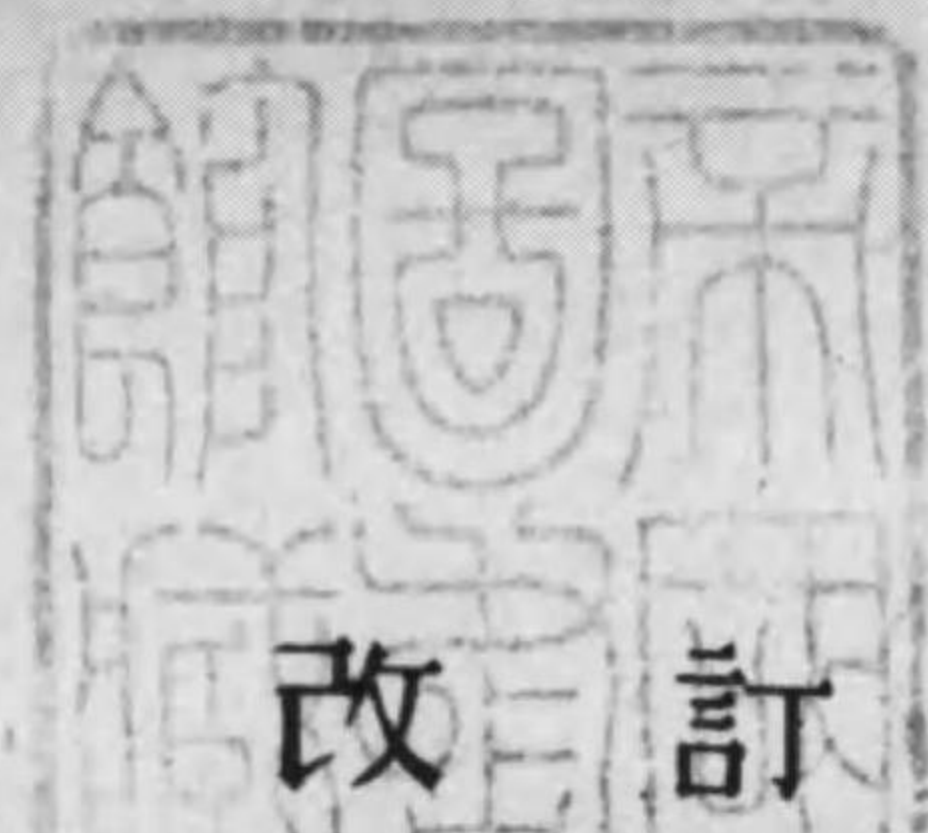


439
62

270
12



改訂
新女子音樂教科書

若狹萬次郎編著
第四編



逝く秋

Allegro agitato.



コガラシ—モリ—ニス—サビテニハノ



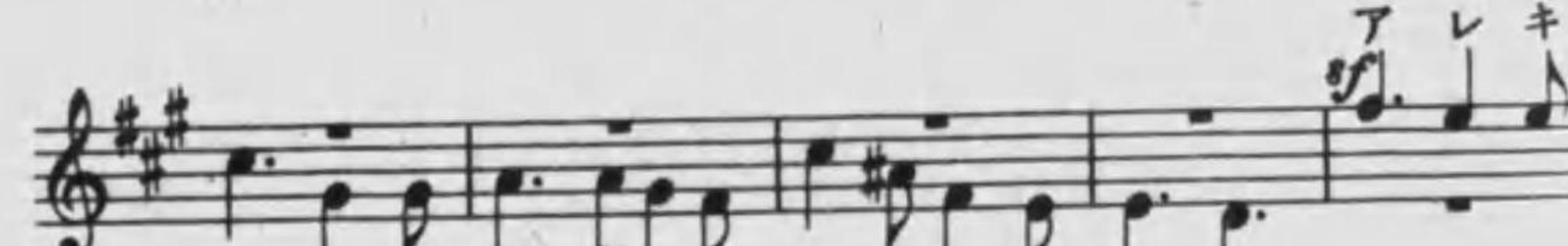
モニコノハミダレ ラグサモ—シ



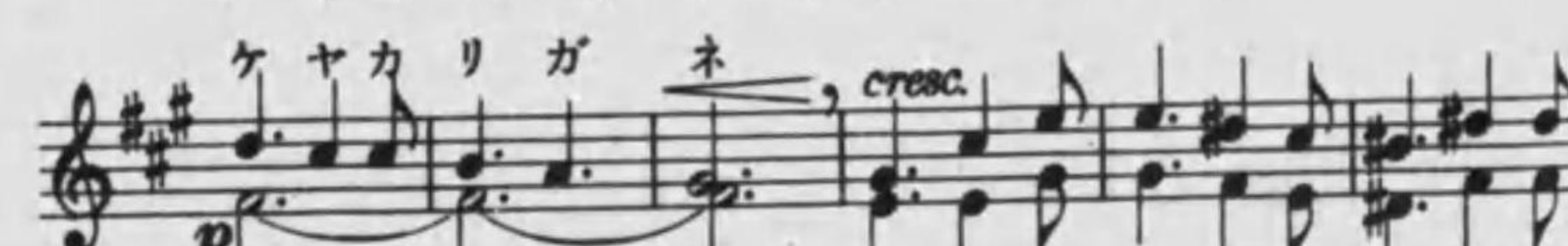
モ—ニシ—ボミテ ナクムシノコエモホソ



ル ヤマノハニ—ユフヒシ—ツメバ



テラノカネ—トホクヒビキテ

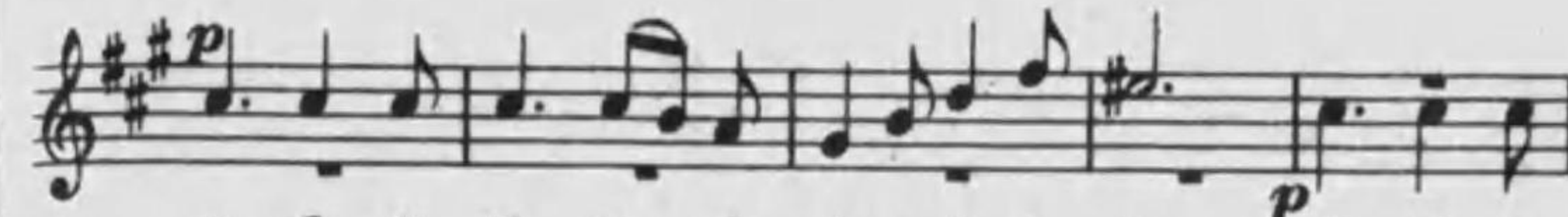


ア—ムツビテシトモハト



ホクナレナレシイヘチハルカ

(51)



ハラカラヨ—イカニクラシ、チチハ



ハヨ—イカニイマス コシカタ—ム



ネ—ニウ—カビテユクアキゾアハレフカ



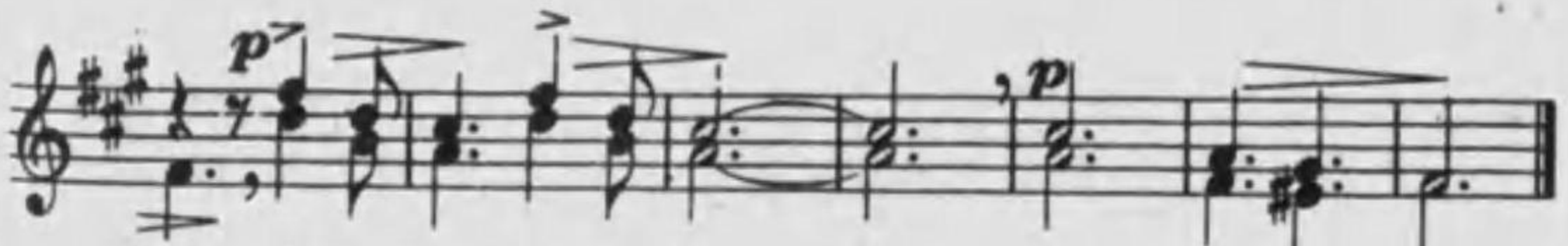
キ ユクスエ—ムネ—ニセ—マリテ



アキノヨゾアハレフカキ アキノヨゾア



ハレフカキ カゼモツユ



モアハレアハレ—アハレヤ

(52)

夕の歌

古關 吉雄

一 星影やさしく瞬き初めて
 夕の鐘鳴り黄昏こめぬ
 いそしみつとめし一日も今果て
 安けき胸にそよ風嬉し
 憩 樂しや
 さまよふ心も清らに澄みゆき
 大空遠く思は翔ける
 夕静けく 思はるけし
 二月影さやけくみ空に冴えて
 流るる光は我が身を包む
 一日の疲も跡なく消えはて
 さまよひ歩く心もかろし
 憩 樂しや
 力は再び心に湧き出で
 わが胸明日の希望にをどる
 夕静けく 思はるけし

友の佛

田崎 維男

一 春は來ぬれどあはれ あはれ
 君は逝きて歸りまさず
 思ふだに悲しや
 妙なる面わ 妙なる面わ
 とはにとはに夢と消えて
 花こそ匂へわびしや春も
 君のまさで 君のまさで
 二 秋は來ぬれどあはれ あはれ
 君は逝きて歸りまさず
 思ふだにはかなや
 面影さやに 面影さやに
 いまもいまも胸にあれど
 月こそ照らせさびしや秋も
 君のまさで 君のまさで

月の舟

水町 京子

棚引く横雲 星の林
 わけつつ撈ぎゆく 月の舟
 古人らも かくぞみけむ
 今宵におなじき 月の舟
 遠る人も 今しいま
 見つつかあらむ 月の舟
 はてなきみ空を ゆく舟
 いにしへ今の 人々の
 おもひをのせて いづくにか
 撈ぎたみゆくぞ 月の舟
 天地こむる 光はさやに
 萬物やすく やすらふ夜半を
 しづかにわたる 月の舟

逝く秋

犬童 球溪

風森に荒びて庭の面に木の葉亂れ
 小草も霜に凋みて啼く蟲の聲も細る
 山の端に夕日沈めば
 寺の鐘遠く響きて あれ聞けや雁が音
 睡びてし友は遠く
 慣れ慣れし家路遙か
 同胞よいかに暮し
 父母よいかに在す
 來し方胸に浮びて逝く秋ぞ哀深き
 行末胸に通りて秋の夜ぞ哀深き
 秋の夜ぞ哀深き
 月も雁も風も露も
 あはれ あはれ あはれや

